

議会報告「市民との意見交換会」

加西市議会では、平成 29 年 11 月 16 日に播磨農業高等学校、北条高等学校の各 PTA と 17 日には加西市商店連合会と議会報告並びに意見交換会を行いました。意見交換会で述べられたご意見を紹介します。

11/16

播磨農業高等学校 PTA ○北条高等学校 PTA

播磨農業高等学校



○実習施設や農機具の老朽化が課題。施設等の更新費用は高額となっており、県費の支援も厳しい。生徒のほとんどが利用する寮の施設も古くなっている。また、農業高校であるにも関わらず進学率が高く、農業関係に就職する学生が少ない。加西市の「ふるさと創造会議」等を利用した農業経営や放棄田対策が出来ないか考えてほしい。

→県教育委員会へ積極的に陳情していくことも大切。新聞報道で播磨農業高校の取り組みが紹介されていたが、6次産業化を考え、レストラン経営や実地で学べる機会があるのであれば、高校の人気も高まると思う。



○保護者の地域的（広域性）なこともあり、要望活動などなかなか困難である。農業高校として県下でも大変評価されており、北条高校と同じ加西市にある高校として議会も関心を持ってほしい。

→高校は県の所管であるが、議会としてもしっかりと県・国への要望活動をしていきたい。また就学前・義務教育の段階から、しっかりと教育に取り組むよう行政に求める。

○奨学金の補助や市の制度が市民に知らされていない。年度ごとの補助申請のタイミングの改善をお願いしたい。少子化対策としても近隣に出ている人たちにも様々な制度を PR してほしい。

→補助申請のタイミングの改善は行政に伝えたい。



播磨農業高等学校・北条高等学校

○播磨農業高校と北条高校への具体的な支援協力について。アフタースクールゼミ事業の方向性について。

→北条高校の活性化協議会への支援としてアフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、陳情活動などへの援助。播磨農業高校については「はりまのちっちゃな台所」事業など個々の事業に支援している。ゼミ事業については、平成 30 年から 3 年間は引き続き支援する予定。



北条高等学校

○教育費に対する補助制度について。

→経済的理由により就学困難な生徒に対しての奨学金制度があり、月額 6,000 円支給される。その他、奨学金を返済している加西市への U ターン者や移住者に対して補助制度がある。



○生徒たちに積極性を持ってほしい。一番影響力のある保護者に積極性を持ってもらいたい。小中の連合 PTA 活動を通じて保護者への講演会や教育への支援をしてほしい。

→進路の決定は、本人の意思だけでなく、周囲からの影響も大きい。過去には、北条高校 OB の心臓外科医や建築家の講演、イグノーベル賞の東山先生の講演などがあった。こういう機会をふやすことが大事。



○進学をさせたい親は小野や西脇の高校へ子供を行かす。教育委員会へお願いしたいのは、保護者に北条高校の良さや現状をもっと伝えてほしい。